

今月第16号は中西部大阪なかのしまクラブの杉浦 眞喜子ワイズにご登壇いただきます。



「EMC って」

中西部大阪なかのしまクラブ
杉浦 眞喜子ワイズ

EMC！ うーん、本当に難しい！

ワイズのクラブがいろいろあっていいように、EMC のやり方もいろいろあっていいように思います。それぞれのクラブに適した EMC のやり方があっていいし、それぞれのクラブがそれを見出していくことが大切かな？と思っています。

20数年前、なかのしまクラブの立ち上げに関わって以来、何人かの方々をお誘いしメンバーになって頂きました。私流のやり方(なかのしま流と言ってもいいでしょうか？)を、少し紹介させていただこうかと思います。

なかのしまクラブは女性だけのクラブですので、私のお誘い対象は、女性に限ります。一般に女性(勿論この「一般」に当てはまらない女性もたくさんいますが)は慎重です。比較的完璧主義です。なので、お誘いして、すぐに『はい』と入る決心を下さる方はそんなにいません、

まずは自分の経験をお話し、自分なりのワイズの(クラブの)魅力をお話し、ブリテンを見て頂いたり。すると、「私にはそんな活動出来ないわ・・・」とか「忙しくて、ちゃんと月2回の例会に出たり、そんな大会とか、とても無理・・・」とか。それに対しては、「まあ、最初からそんなに頑張らなくても、まずはみんなと仲良くなって、後は申し訳ないけど会費をきちんと払って、送られてくるブリテン読んで下さって、出来るだけ月1回の例会に出ていれば、それで十分だから・・・」とお話します。

それでも、入会して下されば、だんだんメンバーと仲良くなって、第1例会、第2例会だけでなく、他の会にも出たくなってくる・・・というのが理想的なパターンです。それには、我々受ける側が魅力的な一人ひとりであることが必須なのですが・・・。そしてとにかくお声をかけて、仲間にしていく。

もう一つ、私がお誘いする方の条件があります。それは「キリスト教に違和感を持っていらっしゃる方」「自分以外のために、お金や労力を使うことに抵抗のない方」です。前者については文字通りです。後者については、お金持ちの方でも、とっても心優しい素敵な方でも、他人のためにお金や労力を出すことに抵抗のある方って結構います。いい悪いではなく、「ワイズには向かない」と私は思っているので、お誘いはしません。

勝手なこと、いろいろ書きました。でも大切なのはやっぱりクラブが楽しく、魅力的であることですね。

(中西部元部長、西日本区元地域奉仕・環境事業主任)